

**カルクロン<sup>®</sup>**

(CALCHLON)

登録番号 特殊肥料 山口県第299号

構造式  $\text{CaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$   
calcium dichloride

性状 類白色顆粒

有効成分 塩化カルシウム 72.0%以上

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 500g×20袋

## ■特 長

1. 作物のカルシウム欠乏による様々な症状に的確な効果を示すため、高品質な作物の収穫を期待できます。
2. 葉面からの吸収に優れるため、過湿または乾燥時で根が弱っている場合でも高い効果を発揮します。

## ■使用方法

(2016年10月19日現在)

対象作物名	主な欠乏症状	希釈倍数(倍)	水10ℓ当り薬量(g)	使用方法
ト マ ト	果実の尻ぐされ症 新葉の黄化	200	50	葉面散布
はくさい、キャベツ	ふちぐされ、芯ぐされ症			
たまねぎ、セルリー	芯ぐされ症			
は な や さ い	新葉の先枯れ症	300	33	
かぼちゃ、なす きゅうり	葉縁の黄白化			
か ん し ょ	新葉の黄化	200	50	
い ち ご	チップバーン			
り ん ご	ビターピット(苦とう病)	200～ 500	50～20	葉面・果面に散布
ぶ ど う	新葉葉縁の葉焼け症	300	33	葉面散布
て ん さ い	芯焼け症	200	50	
そ ら ま め	種子腐敗	350～ 700	14～28	播種床灌注

## △ 効果・薬害などの注意

1. 規定濃度はよく守ってください。濃過ぎると薬害の原因となり、薄いと効果が劣ります。
2. トマトの尻ぐされには開花時がもっとも有効ですから、第1、第2、第3花房の各第1花の開花時をねらって3回散布してください。
3. セルリー、かぼちゃ、かんしょ、ぶどうの場合は、若葉の症状に注意し、早めに散布を開始して、7～10日間隔で3～4回散布してください。
4. はくさい、キャベツのふちぐされ、芯ぐされには早めに散布を開始して7～10日間隔に3～4回散布してください。特に結球するまでに散布することが必要です。
5. りんごでビターピット(苦とう病)が発生する園では、6月上旬～7月中旬の間に7～10日おきに3～5回、果実に充分かかるように散布してください。
6. たまねぎの芯ぐされの場合は地上部の症状では判断しにくいので、例年芯ぐされの多い圃場では、倒伏期までに展着剤を加えて2～4回散布してください。
7. いずれの場合も散布が遅れると効果が出にくいので早めに散布してください。
8. 適期散布で効果があらわれない場合は、他の原因が考えられるので病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

**保管：**吸湿性が強いので、使用残りの薬剤は必ず密封し、乾燥した所に保管してください。万一吸湿して固まった場合でも、効果・薬害等には悪影響はありません。